

## 第5学年-Unit9 単元名 Who is your hero? あこがれの人 (2/5時間)

### 1. 単元目標

- ・自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。  
(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。また、文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。  
(外国語への慣れ親しみ)
- ・英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。  
(言語や文化に関する気付き)

### 2. 表現・言語材料

○Who is your hero? This is my hero. [He/ She] is good at (playing tennis). [He/She] is a good (tennis player).

[He/ She] can (cook well). [He/She] is [kind/ cool/ great/ strong/ gentle/ active/ brave/ funny].

○hero, 状態・気持ち(active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough)

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価く方法	準備物
5分	・挨拶をする ○Let's Chant:(p.67)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・スピーチをする時にも使えそうなジェスチャーを意識して歌わせる。	デジタル教材
9分	○Let's Listen 2(p.68) ・ひかりが紹介する家族の得意を聞き取る。	・話し手が自分の家族の紹介をする中で、いくつかの情報の中から「得意」であることを聞き取り絵とむずぶことで、表現への理解をさらに深めることを目指す。 ・ひかりは家族それぞれの情報をcan～とbe good at～の二つの表現を使って紹介している。これはあとで児童が使う表現例を示し、イメージさせることも意図している。  ・答え合わせをしながら、初めて出てくる表現についてリピートをしたり、大きさにジェスチャーしたりして、内容を理解できるように促す。	デジタル教材
9分	○ポイントゲーム(p.71) ・指導者の言う動詞、形容詞を聞き、誌面にある絵を指さす。	・動詞と形容詞の表現の確認をする。動詞についてはplay the pianoの発音だけでなく、He <b>can</b> play the piano. He <b>is good at</b> (playing) the piano.と～ingを付けた形でのリピートもさせるが、文章で行うことが負担になる場合は、play・playingと単語で口慣らしをしてもよい。	
得意なことを伝え合おう。			
12分	○Activity 1 (p.69)[自己紹介の交流] ・学んだ表現を使い、自己紹介をする。	・名前、好きなこと、できることに、得意なことを加えて、自己紹介をさせる。 例) I am ○○. I like apples. I can cook. I am good at cooking. ・ペアを変えて2～3回練習させる。 ・ある程度言えるようになったら、全体で2人(最低1人)と自己紹介の交流をし、わかったことを表に書き込ませる。 ※「自分の得意」を自ら考えることは自尊感情の向上につながり、それを友達同士で伝え合うには、友達のよさを認め合う学級であることが前提になる。また、「得意」を一緒に考えられるような雰囲気づくりも大切である。	
5分	○友達の得意を書く ・前活動でわかったことを英文で書き写す。	・インタビューの結果を書く。ワークシートにI am good at (イラスト). (友だちの名前) is good at (イラスト).友だちの名前は児童の実態に合わせて日本語でも可とする。 ・もし余裕があれば、書いたものを発表させる。  ◎第三者が得意なことを表す表現を言ったり聞いたりしている。また、文字を読んだり書いたりしている。(外国語への慣れ親しみ)(ワークシート)	ワークシート(各校で作成)
5分	・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード